

「ITと経営の融合：企業革新のための情報・経営戦略」

日時： 12月3日（金） 13時30分～17時30分

場所： 早稲田大学 大隈小講堂（300名定員）＜正門前の大隈講堂地下一階＞
<http://wasedabunka.jp/about/access> の「大隈記念講堂（時計台）」の地下一階です

主催：経営情報学会

協賛：早稲田大学 IT 戦略研究所

会費：無料

申し込みは右記 Web から：<http://bit.ly/cWoeoP>

----- プログラム -----

開会 （13：30）

基調講演 （13：40～14：20）

碓井 誠（フューチャーアーキテクト株式会社シニアフェロー、元セブン-イレブン・ジャパン CIO）
「サービス・イノベーションとCIOの役割（仮）」

休憩： 14：20～14：30

著者講演：25分×4名 （14：30～16：10）

* 経営情報学会編「CIOのための情報・経営戦略：ITと経営の融合」（中央経済社刊）の著者による講演です。

根来龍之（早稲田大学 教授） 「戦略と構築を架橋する役割としてのCIO」

松島桂樹（武蔵大学 教授） 「経営とIT投資の間に存在するギャップ」

三谷慶一郎（NTTデータ経営研究所 情報戦略コンサルティング本部長）

「見える化・共有化・柔軟化の実現」

淀川高喜（野村総合研究所 研究理事） 「アジャイルを実現するIT経営」

パネルディスカッション （16：10～17：10）

パネラー： 著者講演者の4名

閉会スピーチ： 17：10～17：30

國領二郎 経営情報学会会長（慶應義塾大学 教授）

閉会 （17：30）

経営情報学会

経営情報学会は、1992年4月1日に設立された、経営情報にかかわる諸問題の研究および応用を促進し、会員相互および関連する学協会との情報交換をはかるとともに、経営情報学の確立、産業の進歩発展に寄与することを目的とした学会である。

詳細情報：<http://www.jasmin.jp/>

講演者紹介



碓井誠（うすい・まこと）

セブン-イレブン・ジャパンにて SCM、DCM の全体領域の一体改革を推進。2000 年常務取締役システム本部長に就任。2004 年フューチャーアーキテクト取締役副社長、2010 年 3 月シニアフェローに就任（現職）。2010 年 4 月より芝浦工業大学専門職大学院教授、京都大学 経営管理大学院特別教授、早稲田大学ビジネススクール講師（兼任）。著書：『セブン-イレブン流 サービス・イノベーションの条件』（日経 BP 社）など



根来龍之（ねごろ・たつゆき）

2008-2009 年度経営情報学会会長。早稲田大学ビジネススクール教授（MBA/MOT プログラムディレクター）。早稲田大学 IT 戦略研究所所長。京都大学文学部卒業、慶應義塾大学ビジネススクール修了（MBA）、鉄鋼会社、英ハル大学客員研究員などを経て現職。著書：『代替品の戦略』（東洋経済新報社）、『デジタル時代の経営戦略』（編著、メディアセレクト）、『ERPとビジネス改革』（共著、日科技連出版社）など



松島桂樹（まつしま・けいじゅ）

武蔵大学経済学部教授。東京都立大学卒業、専修大学大学院博士課程修了（経営学博士）、日本 IBM などを経て現職。著書：『戦略的 IT 投資マネジメント』（白桃書房）、『IT 投資マネジメントの発展』（編著、白桃書房）など。



三谷慶一郎（みたに・けいいちろう）

㈱NTT データ経営研究所 パートナー・情報戦略コンサルティング本部長、日本システム監査人協会副会長。筑波大学大学院ビジネス科学研究科博士課程修了（博士（経営学））。著書：『CIOのITマネジメント』（共著、NTT 出版）など。



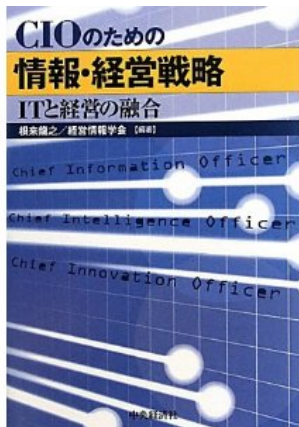
淀川高喜（よどがわ・こうき）

㈱野村総合研究所研究理事。京都大学理学部卒業、㈱野村総合研究所 IT マネジメントコンサルティング部長などを経て現職。著書：『強い企業をつくるビジネスイノベーション』（日経 BP）、『IT 人材再生戦略』（日経 BP）、『図解 CIO ハンドブック』（共著、日経 BP）など。



國領二郎（こくりょう・じろう）

経営情報学会会長。慶應義塾大学総合政策学部教授（学部長）。1982 年東京大学経済学部卒業。日本電信電話公社入社。1986 年ハーバード・ビジネス・スクール留学。1992 年同スクール経営学博士。著書：『オープン・ネットワーク経営』（日本経済新聞社、1995）、『オープン・アーキテクチャ戦略』（ダイヤモンド社、1999）、『オープン・ソリューション社会の構想』（日本経済新聞社、2004）など。



根来龍之・経営情報学会編著

『CIOのための情報・経営戦略: IT と経営の融合』

中央経済社、2010年7月刊

<http://amzn.to/9vGBS0>

ISBN 978-4-502-67820-2

税込 3780 円 (本体 3600 円)

C I Oの三つのミッションを構築論 (I T) と戦略論 (経営) 論の融合の観点から詳説。

- ①Chief Intelligence Officer : 情報活用による経営戦略の創造。
- ②Chief Innovation Officer : 部門横断型のビジネスプロセス改革。
- ③Chief Information Officer : 企業あるいは企業グループ全体のIT 政策の立案。

目次

本書に寄せて (平井淳生)

はじめに (根来龍之)

第1部 乖離から融合へ

第1章 構築論と戦略論を架橋する役割としてのC I O (根来龍之)

第2章 経営とI T投資の間に存在するギャップ (松島桂樹)

第3章 コーポレートと事業部門におけるI Tマネジメント機能 (歌代豊)

第2部 データをふまえた考察

第4章 組織I Q とI T投資 (平野雅章)

第5章 「プロセス志向性」がI T経営に必要な三つの理由 (飯島淳一)

第6章 設計科学からみたI T経営の展開 (角埜恭央)

第3部 実践のための理論と事例

第7章 「仕組」と競争優位 (根来龍之・向正道)

第8章 見える化・共有化・柔軟化の実現 (三谷慶一郎)

第9章 アジャイルを実現するI T経営 (淀川高喜)

第4部 構築のための理論と事例

第10章 ビジネス組織の基盤構造としての情報システム (手島歩三)

第11章 I T経営と企業情報システムアーキテクチャ (南波幸雄)

第12章 I T経営とモデル駆動型アジャイル開発 (繁野高仁)

第13章 情報処理活動による情報システム投資評価 (向正道)